

子どもの臨床セミナー

第3回 高度医療の小児看護の現場から

開催の趣旨

医療スタッフの中でも看護師さんは子どもにとって一番身近な存在です。現在の高度医療の病院では医師、看護師のみなさんは神経をすり減らすお仕事をされているように感じています。医療そのものが高度化し、失敗もミスも許されない高い注意力を要求され、子どもと遊んであげたいけれど、時間もないし、自分たちの仕事をこなすだけで精いっぱいといった声も耳にします。

私たちにとっては「大変そうだなあ」と思っただけでも看護師さんたちが抱えている課題は何なのか、ほんとうの姿は見えていません。

このセミナーはボランティア技術のスキルアップのために企画。第1回は「小児がんのトータルケアと子どもへの告知」第2回は「ヘレンダグラスハウス」について話し合いました。今回は、「高度医療の小児看護の現場から」をテーマに小児科の師長さんの話を伺います。看護の現場を知り、病気や医療に関する知識は、病気の子どもに対する理解を深め、子どもと家族のサポートがより実効性の高いものになります。このセミナーを通して私たち市民に出来ることは何なのかを考えたいと思います。

テーマ 「高度医療の小児看護の現場から」

日時 2010年3月6日(土) 14時～16時

会場 国立国際医療センター 戸山病院・レセプションルーム

(B1地下食堂入り口 エレベーター脇の部屋)

講師

国立国際医療センター小児科病棟 萬 弘子看護師長

ディスカッション 参加者を交えて語り合います。

参加費 無料 資料代500円(欲しい方のみ)

終了後茶話会もご用意しています

希望者はメールか電話で。定員は30人

主催 NPO法人病気の子ども支援ネット遊びのボランティア

問い合わせ事務局 〒135-0053 江東区辰巳1-8-31-305

電話: 03-3521-1435(FAX 兼) 坂上 08055274379

a.so.vo@y3.dion.ne.jp